

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	令和元年度 第2回富田林市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和元年8月26日(月) 15:00~17:00
開 催 場 所	Topic富田林市きらめき創造館2階 グループ活動室A・B
出 席 委 員 (名簿順表記)	・井上美智子委員(会長)・恒川委員・中尾委員(副会長) ・福田委員・松浦委員・横大路委員・井上委員・杉分委員 ・松田委員・北谷委員・北代委員・西田委員 (計12名)
欠 席 委 員	・開沼委員・西山委員・奥野委員・岡野委員
事 務 局	こども未来室:寺元室長(子育て福祉部付部長)、小島課長、辻野課長、 谷田課長代理、森課長代理、佐藤、廣谷 教育指導室:山口主幹
会 議 次 第	1. 開会 2. こども未来室長あいさつ 3. 委員および事務局自己紹介 4. 案件 ・第1期富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について ・第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画のニーズ量の推計結果と目標量の設定について 5. その他 ・富田林市子ども・子育て支援事業計画 達成状況調査報告書について ・「第2期富田林市子ども・子育て支援計画」策定のためのニーズ調査(自由記述)について 6. 閉会
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	0人
そ の 他	なし

【議事要旨】

	<p>1. 開会 (事務局)</p> <p>2. あいさつ (こども未来室長)</p> <p>3. 委員自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none">・配布資料確認・井上会長挨拶・会議成立要件の確認 (委員 16 名中、過半数を超える 12 名が出席のため成立) <p>4. 案件</p> <ul style="list-style-type: none">・第 1 期富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について
事務局	<ul style="list-style-type: none">●資料 1 「教育・保育のニーズ量の見込みと提供量に対する実績など」の概要及び内容について説明●資料 2 「地域子ども・子育て支援事業のニーズ量の見込みと提供量に対する実績など」の概要及び内容について説明●資料 3 「その他子育て支援事業等の利用状況」の概要及び内容について説明(説明省略)
会長	◇事務局から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。
委員	◇昨年度、2 園の公立幼稚園で行っていた預かり保育はどこに計上されているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">●2 園を研究指定して実施した預かり保育の事だと思うが、今回の資料 3 の利用状況には計上していない。 <ul style="list-style-type: none">・第 2 期富田林市子ども・子育て支援事業計画のニーズ量の推計結果と目標量の設定について
事務局および ㈱ぎょうせい	<ul style="list-style-type: none">●資料 4 「第 2 期富田林市子ども・子育て支援事業計画」ニーズ量の推計結果と目標量の設定について」の概要及び内容について説明(説明省略)
会長	◇事務局および㈱ぎょうせいから説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。

委員	◇時間外保育事業とは、保育短時間利用認定の子どもが引き続き保育を利用する場合を含むのか。
事務局	●保育標準時間（11時間／1日）利用認定を超えて預かった時間を時間外保育事業としている。よって、短時間利用認定の延長保育は含まれていない。
委員	◇3号認定0歳児のみ、ニーズ量の方が確保方策を上回っているところがあるが、どのように対応するのか。
事務局	●その場合、待機児童が発生することになるが、対策として、毎年新たな保育施設の誘致を進めている。今年4月に1園開設し、来年4月に1園開設予定であるが、すぐには解消できないのが現状である。
委員	◇10月から始まる無償化に伴って、3歳児以上の保育園の利用が増えることが想定されるが、そのニーズ量は含まれているのか。
(株)ぎょうせい	●ニーズ調査の設問で、今後、無償化になった場合の利用意向についての設問があったため、反映はされていると認識している。しかし、幼稚園・保育園・認定こども園等、複数選択することが可能な設問のため、ニーズ量は多くなっていると考え。無償化については、10月から始まることから、今後の動向を見ながら柔軟に対応していくことになる。また、計画についても見直しをかけていくものとご理解いただきたい。
委員	◇保育所の受け入れについては、保育士の確保も含んでいるか。
事務局	●他市では保育士が確保できないため、利用定員を減らして保育を行っている所もあるが、本市内の認可保育施設では各施設で保育士の確保について努めており、現在、そのような対応を迫られていない状況である。また、新規募集した事業所についても必要な保育士を確保しており、予定通りの定員数で4月からスタートできている。
	5. その他
	・富田林市子ども・子育て支援事業計画 達成状況調査報告書について
(株)ぎょうせい	●資料5「富田林市子ども・子育て支援事業計画 達成状況調査報告書」の概要及び内容について説明 (説明省略)
	・「第2期富田林市子ども・子育て支援計画」策定のためのニーズ調査（自由記述）について
事務局	●「第2期富田林市子ども・子育て支援計画」策定のためのニーズ調査（自由記述）の概要及び内容について説明 (説明省略)
会長	◇事務局および(株)ぎょうせいから説明のあった内容について、委員の皆さんの

	質問や意見をうかがう。
委員	◇「富田林市子ども・子育て支援事業計画 達成状況調査報告書」の32番の「学童クラブでの障がいのある児童の受け入れ体制の充実」について、本当は学童クラブに入会したいが、利用人数が多く、また、指導員の受入体制や専門性も不十分であるため、やむなく放課後デイサービスに通っている児童もいる中、達成度Aという評価は疑問に思う。
事務局	●放課後デイサービスを利用される児童がいることは認識しているが、委員ご指摘の児童がどれくらい存在するのか、ニーズは把握できていない。今後、施策の中で考えていきたい。
委員	◇報告書の33番「つながるファイル」について、保育園・幼稚園から成人するまで活用できるファイルとなっているが、きちんと活用されているのか。小学校から中学校に進学する際、つながるファイルが活用されていなかった事例がある。きちんと繋いでもらっているのか疑問に思うが、達成度評価は高い。
事務局	●つながるファイルの研修会を実施し周知に努めているが、すべての先生が同じレベルで理解できているかは、正直なところ分からない。公立の小学校・中学校は同じ教育委員会の中で繋げていけるが、高校に進学する際には課題があると認識している。今後、教員に関わらず、子どもに関わるすべての職員が理解できるよう考えていく必要がある。
委員	◇「富田林市子ども・子育て支援事業計画 達成状況調査報告書」の結果は、次期の事業計画書に反映されるのか。反映されるのであれば、現場の声を聞き取る必要があるのではないかと。委員それぞれの立場から現場の声を事務局に届けることで、その声も勘案し、次期の計画に反映していける部分もあるのではないかと。
事務局	●委員のご指摘を踏まえ、意見がある場合は、1週間以内に事務局まで意見等を届けてもらいたい。
委員	◇大津市の県道で園児らが巻き込まれた事故を踏まえて、通学路等の安全に関する事業はどこの部署が担当になるか。
事務局	●担当部署は道路交通課になる。第2期の計画を策定する中で、新たな課題として検討していきたい。
委員	◇ニーズ調査の自由記述について、たくさんの意見が寄せられているのは、市の施策に期待しているからだと思うので、これらの意見を聞くだけに留めてはいけない。意見を受けて各担当部署がどのように捉えたか、子ども・子育て会議にてフィードバックしてもらい、次の計画に反映していく必要があるのではないかと。
事務局	●事務局としても貴重な意見と認識している。各担当部署にも情報提供し、どのように政策に反映していくかを検討してもらおうが、その結果をこの会議にてフィードバックすることについては、その方法も含めて持ち帰って検討し

<p>会長</p>	<p>たい。</p> <p>◇他に質問や意見はないか (意見なし)</p>
<p>会長</p>	<p>◇本日の案件については、以上とする。</p>
<p>事務局</p>	<p>●次回の会議は、ニーズ量の見込みをもとにした事業計画案の検討などについて審議していただく。 会議の開催時期は、10月を予定している。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>